

自然環境局野生生物課

1. 事業の概要

わが国における高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、インフルエンザウイルスの感染経路の解明が急務となっているが、渡り鳥が、発生地域からウイルスを運搬している可能性があると考えられていることから、渡り鳥の詳細な飛来経路情報が求められている。

これまで我が国で発生した鳥インフルエンザのウイルスが中国、韓国のウイルスと系統が同じであると判明したことから、特に中国、韓国を経由する渡り鳥について飛来経路の早急な解明への要請が強まっている。

また、平成20年春に、ハクチョウ類から高病原性鳥インフルエンザウイルスが初めて確認されたため、ハクチョウ類について詳細な渡り経路を把握することが喫緊の課題となっている。

このため、本事業では、中国、韓国で渡り鳥(カモ類)を、また我が国では越冬しているハクチョウ類及びカモ類を、捕獲し、人工衛星追跡用送信機を装着し、位置情報を収集して、渡り経路の把握を行う。

2. 事業計画

平成17～19年度 衛星追跡による渡り経路の把握

平成20～22年度

衛星追跡による渡り経路の把握(中国・韓国からの飛来経路の重点的解明)

平成21～23年度

衛星追跡による渡り経路の把握(ハクチョウ類飛来経路の重点的解明)

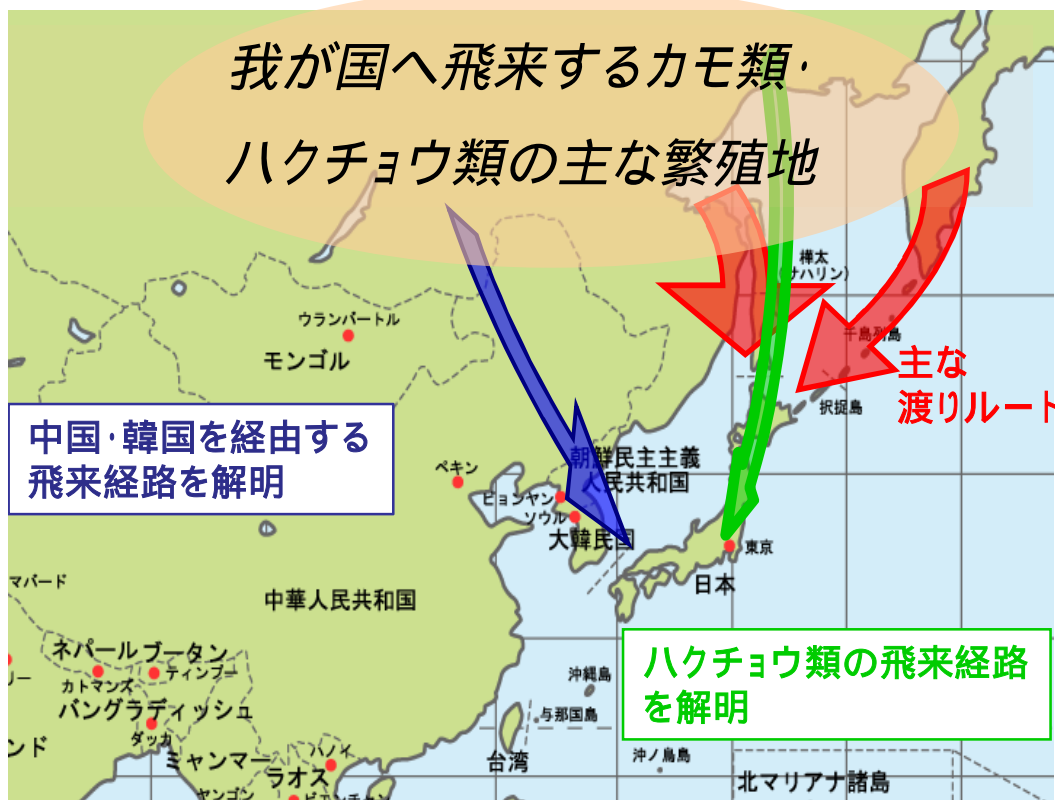
3. 施策の効果

我が国への渡り鳥の飛来経路、特に中国・韓国からの飛来経路やハクチョウ類の飛来経路を明らかにすることにより、高病原性鳥インフルエンザの感染経路の解明及び同感染症への対策の検討に資する。

4. 備考

調査費 衛星追跡による渡り経路の把握 65百万円

渡り鳥の飛来経路解明事業

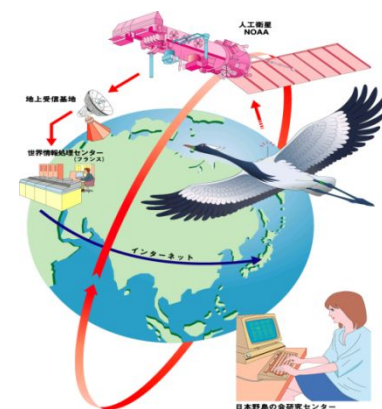


我が国に飛来する渡り鳥の飛来経路の解明への強い要請

我が国で発生した鳥インフルエンザウイルスは、中国・韓国で発生したウイルスの系統と同じことが判明

平成20年春にハクチョウ類から鳥インフルエンザウイルスを確認

人工衛星追跡により、中国・韓国を經由する渡り鳥及びハクチョウ類の飛来経路を重点的に解明



人工衛星による鳥類の移動追跡の仕組み

～ 高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染経路解明に寄与～